

# 認定こども園ともいき 令和3年度自己評価結果公表シート

## 1 本園の教育目標

- |              |
|--------------|
| 1 心豊かな子ども    |
| 2 明るい子ども     |
| 3 進んで行動する子ども |

## 2 本年度、重点的に取り組む項目

<p>認定こども園ともいきの求める職員の人物像は、次の3つである。</p> <p>(1) 和顔愛語 すてきな笑顔と気持ちのいい挨拶をする人</p> <p>(2) 同事協力 職場の人と息を合わせて仕事をする人</p> <p>(3) 智慧希望 素直に人の意見や物事を受け入れ、よく考えて積極的に仕事をする人</p> <p>これらを実現するために、まずは人間性の基礎となる笑顔と挨拶を徹底できるよう組織的に取り組んでいくことを重点事項とする。</p>
--

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

認定こども園教育保育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・方針に従い指導計画を作成する。	主体性を重視し、子どもの実状に合わせた活動が展開された。特に自然環境との関わりからの学びが重視されている。積極的な環境構成を実現させていけると尚良い。
教育の質を高めるため、研修を充実させる。	昨年度からリモートでの研修が充実してきており、園の受講環境も整ってきている。今年度も多くの外部研修を受講することができた。 園内研修については、エピソードの共有を軸として園児の姿を多角的に捉える取り組みを行うことが出来た。また、ほぼすべての職員がエビペンの使用法を再確認することができた。
園児の良さを認め評価する	園児の姿を多角的に捉える取り組みにより、総合的な視点を得ることができた。 職員体制、勤務体制に余裕を持てると良い。
園の情報を発信する	在園児向けの鍵付きブログを新たに開設。利用者向けにより詳細で多彩な内容を掲載することができるようになった。 また、スマホアプリを導入し、利用者へのお知らせを従来の紙媒体からアプリに移行をしている。細やかな伝達が可能になった。
園環境を整える	スマホアプリの導入により、利用者の利便性の向上。 施設内ネットワークの拡大により業務の効率化。 保育室の水道を一部温水化し、手洗いの取り組みを強化。 床、外壁、鉄部等の劣化を全体的に補修。 自然環境の維持と充実は引き続き力を入れている。多様な園児が主体的に活動できる環境を目指したい。

#### 4 認定こども園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

概ね目標等に向け意識して取り組むことが出来た。また、全体的に昨年度よりも若干自己評価が上昇した。

課題として、教育内容の向上が図れる体制づくりが必要。また、コロナ禍の影響もあるが外部との連携がやや希薄な面もあった。

#### 5 今後取り組むべき課題

社会情勢に対応した運営	コロナ禍の中で、教育保育の質と安心安全を両立。 変化する情勢に柔軟に対応していく。
安定した職員体制	無理なく余裕を持った人員体制で振り返りや研修の機会を確保していきたい。
遊びの環境と安全な環境の整備	より遊びが深めやすい環境と、安全な環境を整備していく。

#### 6 認定こども園関係者の評価

評価した点として

特に、コロナ禍においての適切な対応と、制約の中でも保育の充実が図られている点が評価された。

他に、屋外保育環境の構成、園児の関わりと理解。

検討事項としては

安全確保、職員の情報共有、引き続きの環境整備、研修機会確保、外部への情報発信、人材確保。